

独自の風評対策を紹介

東京農大生 県庁で知事と懇談



左から猪俣さん、望月さん、内堀知事、藤本さん、鈴木さん、梅本さん

東京都の東京農大国際食料情報学部
の学生

は、県庁で内堀雅雄知事と懇談した。東京電力福島第一原発事故を受けて同大が取り組んでいる風評対策などを説明した。

訪問したのは二年生の藤本夕夏さんと鈴

木奏絵さん。二人は県米穀肥料協同組合青年部による授業を受けた感想、県産米の魅力、安全安心に向けた取り組みの重要性など

について語った。内堀知事には極わせ種「瑞穂黄金」で作られたおにぎりが贈られた。

報学部の望月洋孝助教、県米穀肥料協同組合の梅本典夫理事長と猪俣優樹青年部長が同席した。

青年部は県産米に関する正しい知識を首都圏の学生に伝える事業を展開している。風評対策につなげる狙いだ。

東京農大国際食料情

県米穀肥料協同組合